

スクール・アシスタント・ ティチャーによる授業



スクール・アシスタント・ティチャーとは？

道教育大札幌校の協力を得て、教師と学生が協力しながら授業を実施して、児童の基礎学力の定着を図ります。

ふれあい かかわりあい

当別町教育委員会
☎ 3-2689

今回は、学校や各種団体など地域での「ふれあい・かかわりあい」を通じた、活動状況を紹介します。

また、様々な学習機会における環境づくりの創出を目指した「教育推進計画」の策定が始まりました。

計画の完成は今年度中を目標にしており、経過については随時お知らせします。

コンサート

スマイル 4Beat の 演奏で音楽を満喫

7月2日、中小屋小体育館で中小屋PTA文化主催のスマイル4ビートによる、コンサートが開催されました。

同バンドは早来町の全盲の方など、障害を持った4人グループで、当別町内での演奏が好評だったことから来校してくれました。

ピアノ、マラカス、デジタルドラムの楽器を駆使し、また、小・中学校の先生たちのギターも加わり、中島みゆき、サザンオールスターズなどの歌と演奏を楽しみました。

地域の子供からお年寄りまで約50人が、手拍子をとったり、口ずさむなど、体育館いっぱいに音楽が溶け込んでいました。

同バンドは、全道212市町村での演奏活動を目指して頑張っています。



造形を楽しみました。
作品は11月の文化祭に展示されますので是非、観賞しませんか？



ことぶき大学

陶芸教室で土の造形を楽しむ

6月13日、上当別に所在する、「工房 千草屋」で、ことぶき大学の陶芸教室が開催されました。

この日の講座には、学生28名が参加し、窯工房の主催者、高橋千枝子さんの指導により、「ろくろ」を回しながら思いおもいに、皿や湯飲みなど、土の

「教育推進計画」の策定始まる

6月30日、公募による委員3人を含む21名の構成により、第1回目の教育推進計画策定委員会を開催しました。

学校・家庭・地域社会を含め、町民1人ひとりがいつでもどこでも自由に学習の機会が得られ、学び・評価される生涯学習の考え方を基本として、「当別町の教育」の方向性や、社会の変化に対応できる施策を明確に示して行きたいと考えています。

計画の策定は、平成15年度中の完成を目指し、作業を進めています。



当別歴史さがし

町教委では、当別開拓期以降の生活の様子や町並みなど、地域や家庭に埋もれている資料の掘り起こしをしています。みなさまの情報・資料の提供をお待ちしています。

詳細 社会教育係 (☎ 3 - 3834)

—あそ山のしげる木立をふみ分けて
住み見し月の今も替らず— 桃園

伊達邦直の歌碑

昭和 57 年当別町開基百十年を記念し、伊達邦直の歌碑を建てました。

町教委より、委嘱を受けた碑歌選定委員会（委員長 故藤沢健夫氏）が、40 首の中から、選んだものです。碑石は、下川通の故日野八ナさんが寄贈され、縦 160 ・ 幅 95 ・ 厚さ 10 cm の宮城県稲井の粘板岩です。

刻まれた文字は、邦直の日記などから集字し、石屋さんには注文をつけ、少し深めに彫りました。

この歌には「過ぎし明治五年壬申よりこの当別村をひらき、移住せしを思い出て」と、添えられています。
(坂田資宏氏寄稿)



野外学習

野鳥のハーモニーに
耳を澄まして

5月24日、北海道医療大学周辺の遊歩道を歩きながら、春の野鳥観察会が開催されました。

これは、町教委と同医療大との連携

により行っている「ゆとりっちセミナー」の1つで、同大学の樋口先生の案内のもと、子供からお年寄りまで約40人が春の野山でのバードウォッチングに参加しました。

鳥の「さえずり」が聞こえるたび、双眼鏡を手に、一生懸命その姿を追い求めていました。

この時期は約30種類の野鳥が見られるそうで、「リリリリリ」と鳴く「コルリ」や「チリリリリ」とさえずる「キリタキ」、「ギギギギー」と鳴く「アカゲラ」など鳥たちの美しいハーモニーが奏でられていました。

次の連携事業は、8月28日に、「映画で学ぶ英会話」を実施します。

国際交流

当小で国際交流学習を体験



6月20日、当別小学校の4年生110名は、外国の文化に触れる総合学習を体験しました。

講師の道教育大学札幌校の留学生は、出身国も様々で、中国5人、アメリカ1人、エジプト1人、香港1人と国際色豊かに、8グループに分かれ、より身近に外国の人に接し、学校のことやどんな遊びをしているかなど、活発に質問し、それぞれに感じたり不思議がったり、想像をたくましくしていました。

次の授業では、留学生の方達にお礼の手紙を書く予定で、こうした交流を通じて外国の人々の生活を、身近なものとして、理解が図られていくでしょう。

「伴志ずえ」奨学金制度を
廃止し図書を購入

昭和42年「伴志ずえ」奨学金制度がスタートし、既に35年が経過し、多くの方々に奨学金を支給したり、「伴志ずえ」文庫の充実に努めてきました。

「図書室からのお知らせ」

公民館、西当別コミセン図書室では、借りたい図書がない場合でも、北海道立図書館、札幌市内の各図書館の蔵書が検索でき借りられます。希望者は両図書室で備え付けの専用用紙に記入の上申込みください。また、蔵書はインターネットで検索ができます。(図書室にもパソコンがありますので利用ください)

北海道立図書館の蔵書検索

(<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.jp/hk-tosho/top.htm>)

札幌市内の各図書館の蔵書検索

(<http://www.library.city.sapporo.jp/>)

▼詳細 公民館図書室 (☎ 3 - 2511)

西当別コミセン図書室 (☎ 6 - 3300)



公民館図書室の机・イスが新しくなりました

が、現在の低金利では、利息での運営が困難になりました。

これまでの実績、今後の方向を「伴志ずえ」奨学金運営委員会で検討し、本奨学金制度を廃止することになりました。故人の遺志を生かし、全資金を圖書の購入(238冊)にあて、公民館、西当別コミユニティセンターの両図書室に寄贈しました。

